

2018年12月11日

QB 第一号ファンド 「熊本大学によるマイクロスラリージェット事業化プロジェクト」への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「熊本大学によるマイクロスラリージェット事業化プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）に対してプレ投資^{※1}を行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

※1 プレ投資とは、大学発ベンチャーの課題の一つといわれる研究費と民間投資の間にある資金的ギャップを埋め、地域において有望な大学発ベンチャーの創出を目指す QB ファンド独自の大学発ベンチャーインキュベーションプログラムのこと。

記

1. プロジェクトの概要

会社名	熊本大学によるマイクロスラリージェット事業化プロジェクト
技術研究者	熊本大学大学院先端科学研究部 中西 義孝 教授
事業内容	マイクロスラリージェットによる 3次元形状材料等の表面加工技術の事業化

2. プロジェクトが目指すもの

本プロジェクトは、熊本大学大学院先端科学研究部の中西 義孝 教授が研究するマイクロスラリージェット技術^{※2}を活用し、さまざまな材質や形状の材料に対して、表面の平滑化や凹凸形成などの加工を行う事業の創生を目指すものです。

※2 マイクロスラリージェット技術とは、粒子を含む液体を加工対象に高速連続投射し、加工対象表面の平滑化や凹凸形状を形成する技術

3. QBキャピタルと熊本大学の取組み

QB 第一号ファンドを運営する QB キャピタル合同会社は、2017年9月1日付で「研究成果の事業可能性評価を行う事業に係る覚書」を熊本大学と締結し、同大学発の研究成果を活用した事業化プロジェクトの支援を行っています。

なお、熊本大学では、2018年4月に、大学発ベンチャー等に関する認定制度を制定し、ベンチャー支援に力を入れており、本プロジェクトも、その一環として取り組むものです。

以上

参 考

『QB 第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立した QB キャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

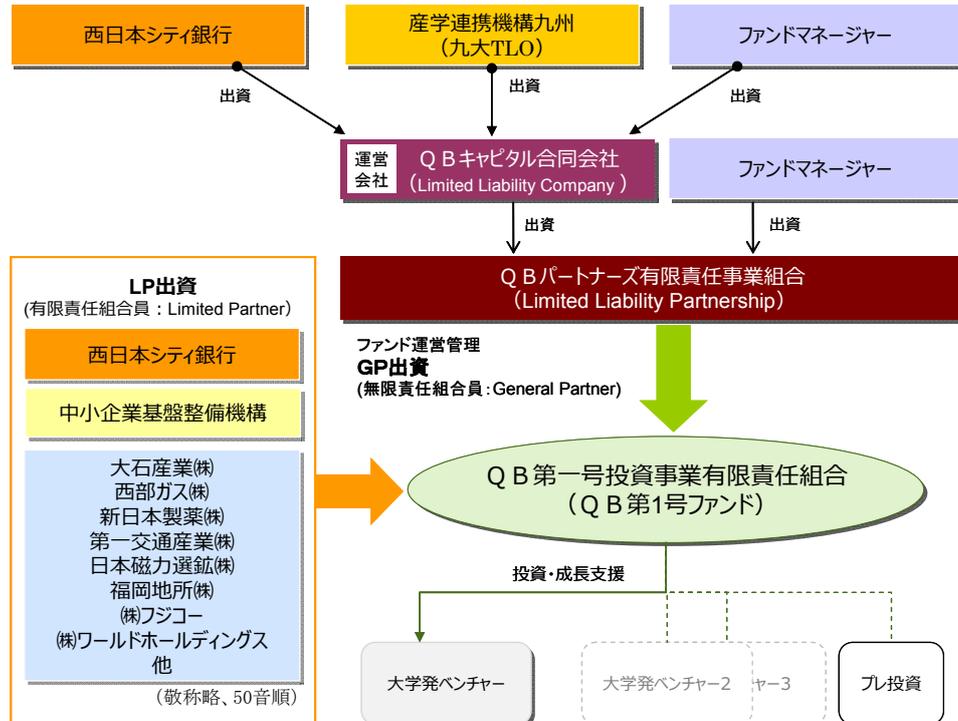
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	2015 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	2015 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・多良木 TEL092-476-2741